

はじめに

1994（平成6）年に北九州大学産業社会研究所（現：北九州市立大学都市政策研究所）と下関市立大学産業文化研究所は関門地域を対象とする「関門地域共同研究会」を発足させ、これまで下記の事業、調査研究を重ねてきました。

- 1994（平成6）年度 住民意識調査
「関門地域住民意識調査～若者定住と福祉をめぐる」関門地域研究 Vol.1、1995年
「文献資料目録〔1〕」関門地域研究 Vol.2、1995年
- 1995～96（平成7～8）年度 関門港研究
「関門港の現状と諸問題－関門港研究(1)」関門地域研究 Vol.3、1996年
「文献資料目録〔2〕」関門地域研究 Vol.4、1996年
「関門港の課題と展望－関門港研究(2)」関門地域研究 Vol.5、1997年
「文献資料目録〔3〕」関門地域研究 Vol.6、1997年
- 1997～98（平成9～10）年度 海峡都市圏の研究
「関門経済圏の産業構造—中間報告」関門地域研究 Vol.7、1998年
「関門経済圏の産業構造」関門地域研究 Vol.8、1999年
- 1999～2000（平成11～12）年度 環境研究
「関門地域における環境保全への取組み(1)」関門地域研究 Vol.9、2000年
「関門地域における環境保全への取組み(2)」関門地域研究 Vol.10、2001年
- 2001～2002（平成13～14）年度
「関門地域・韓国間の経済協力とインフラ整備に関する研究」「関門地域の金融構造に関する研究」
関門地域研究 Vol.11、2002年
「関門地域と韓国間の経済・産業協力に関する研究」「関門地域の中小企業金融に関する研究」
関門地域研究 Vol.12、2003年
- 2003～2004（平成15～16）年度
「関門地域の国際（インバウンド）観光振興－韓国編」「関門地域のベンチャー企業創出・育成に向けた調査研究」
関門地域研究 Vol.13、2004年
「関門地域の国際（インバウンド）観光振興－中国編」「関門地域のベンチャー企業創出・育成に向けた調査研究」
関門地域研究 Vol.14、2005年
- 2005～2006（平成17～19）年度
「関門地域連携のあり方に関する調査研究—中間報告『ソーシャル・キャピタル』の視点から」関門地域研究
Vol.15、2006年
「関門地域連携の資源としてのソーシャル・キャピタル研究」関門地域研究 Vol.16、2006年（本報告書）

関門地域共同研究会が組織されて10年を経た昨年度、「新たな10年」の最初の取り組みとして「関門地域連携に関わる『ソーシャル・キャピタル』研究」を2年計画で設定しました。本年はそのテーマの完成年と位置づけられています。昨年の予備的調査に基づいた本格的な調査実施をはじめ、各執筆者もこの位置づけを強く意識しながら各テーマの分析を重ねています。その成果が本報告書ですが、中心である社会調査では当初設定されたソーシャル・キャピタル形成・蓄積の分析には至らず、現状の把握に留まっていることや、調査分析を進める過程で新たに明らかになった課題を、敢えて今後の課題として残した部分も多々あります。その結果、今後も継続的に調査研究を進めるべきテーマであることを確認する報告書となりました。

テーマごとの報告とともに、全体の総説が冒頭に配されています。全体的なテーマの狙いや研究の概観を把握することができると思います。

関門地域共同研究会は報告書刊行後に毎年、その年の成果に基づく「報告会」を開催しています。今年は6～7月に北九州市で開催する予定です。報告書作成後に新たに分析を進めた結果を含めてより実りのある報告会になることと思います。

2007年3月

2006年度「関門地域共同研究会」会長代行

（北九州市立大学都市政策研究所）

石塚 優